

## プロテオグリカン配合化粧品開発支援事例紹介

Case examples of proteoglycan-containing cosmetic product development support

平山 智代、内沢 秀光、岩城 利英子\*1、宮田 健\*2  
(\*1 合同会社ゆきの木)、(\*2 株式会社アグリコミュニケーションズ津軽)

弘前地域研究所では、県産素材を配合したスキンケアやヘアケア化粧品の開発支援を行っている。例えば、クリーム、化粧水、シャンプー、リンス、化粧石鹸などの処方相談や試作支援、さらには、肌の保湿性、抗シワ性、毛髪光沢など、化粧品開発に必要な有用性評価支援も行っている。今回、弘前工業研究所が開発支援した化粧品が、県内企業2社から商品化された。

「雪の泡せっけん」は、プロテオグリカンとフコイダンエキスを保湿剤として配合した手作り化粧石鹸である。泡や洗浄力という基本特性を試験により把握しながら、処方(脂肪酸組成の異なる油脂や添加剤)を改良していった。また、破断強度試験、安定性試験、肌試験を行うことにより処方や工程を更に最適化した。

「AKARIN5 (あかりんご) シリーズ」のスキนครリームとローションは、プロテオグリカンを保湿成分とし、果肉まで赤いりんご品種「御所川原」の花と幼果からそれぞれ固液抽出した「リンゴ花エキス」と「リンゴ果実エキス」を香り成分と整肌成分として配合したスキンケア製品である。開発にあたり、リンゴ由来エキスのスキンケア化粧品への配合を提案し、エキス成分に適した処方の開発を行い、試作実験によりその配合量の最適化を図った。



「雪の泡せっけん」  
(同)ゆきの木



「AKARIN5 シリーズ」  
(株)アグリコミュニケーションズ津軽